

# 九州経済

ファクス 092 (711) 6249 メール keizai@nishinippon.co.jp



複合金属製品やプラント向け製品の製造・販売・補修を手掛ける。光触媒製品の製造・販売も行う。1952年創業。本社は北九州市。売上高は2017年3月期で約130億円。従業員数は約800人(17年3月31日現在)。フジコーの光触媒技術は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の国際宇宙ステーション「きぼう」でのマウス実験でも使用された。

## フジコー

### わが社の人財戦略

## 人を育てて技術を磨く

自分の意見をしっかりと述べ、能動的に動ける人材を求めている。主に製鉄所内での作業請負やメンテナンス業務などを行っており、顧客との折衝も必要だ。問題解決法を自ら提案し、仕事を受注していくことが大切だ。会社の認知度向上のため、これまでは九州のみで実施していた大卒向けの合同企業説明会を、東北、関東、中国地方にも範囲を広げた。また新卒者にも地域を限定して働



総務部採用・教育室長

いしい たかひろ 石井 貴弘さん

ける総合職を設けた。地元志向の学生ニーズに対応したい。当社の1番の売りは技術だ。溶接などの技術伝承のため、マイスター制度を設けて後進の育成に努めている。研究職では、会社から金銭や勤務上の支援を受けながら博士号を取得した従業員もいる。技術の伝承や創造を続けるには、人材の育成が欠かせない。今後は収益の柱を増やし、永続できる経営を目指す。金属溶射の技術を応用した光触媒技術を使った事業も新しい柱に育てたい。

毎週火曜掲載

▶ aBiz にアンケートと動画

# 西シ銀 500人分の業務削減

## 今後2年 7割ペーパーレス化

西日本シティ銀行(福岡市)の谷川浩道頭取は26日、2020年3月末までの2年間で、500人分に相当する業務量を減らす方針を明らかにした。大胆なデジ

タル化で省力化を加速させるほか、現金自動預払機(ATM)や店舗のあり方、各部署の人員配置も抜本的に見直す。西シ銀は今年1月に「業務革新室」を新設し、先行事例などを研究。預金や為替、融資など各業務の中から、効果が出やすい約100項目を抽出した上で、全体の7割のペーパーレス

化を進め、事務量の3割を削減するという。谷川頭取はこの日の定例会見で「営業店も巻き込み、見直しを相当なスピード感でやっていく」と意欲を示した。西シ銀の従業員は正規と非正規合わせて約5800人で、500人分の業務量は8〜9%に当たる。谷川頭取は「より生産性の高い

分野で仕事をしてもらうが、必要なら人員の削減も踏み込んで考えないといけない」と述べた。基本的には、従業員を預かり資産営業や企業再生、フィンテックなどの成長分野に重点的に配置。それでも人手が余る場合は、新規採用の抑制などを検討するという。



# 店舗無人化へ模索

## 深

また、本社ビルの従業員向け店舗では、電子タグを使った無人レジの実証実験を実施。全商品にタグを貼り、買ハ勿袋が、われわれは

グスの西川晋「アマゾンコー

クノロジーで最

を提供しよう

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは

が、われわれは